
まぼろし

じゅう・かわせみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

まぼろし

【Nコード】

N4325E

【作者名】

じゅう・かわせみ

【あらすじ】

あの人と過ごしたバレンタインデーの夜を思い出す私。

三学期の最後のホームルームが終わると、わたしは、クラスメイトと別れを告げた後、真っ直ぐ生徒玄関には向かわず、旧校舎の図書室へと向かった。

ここの本はほぼ全て新校舎へと移され、今では、ガランとした本棚がほこりだけを収めている。春休みの間に旧校舎の解体工事が行われる予定で、当然この図書室も例外ではない。物が壊れたからといって、その物に関わる思い出までも壊れるわけではないが、形あるものを視ることが、記憶の再生への大きな助けとなることには違いない。わたしは図書室の片隅の本棚の前に来ると、それを背にし、スカートを押さえて座り込んだ。ひんやりとした感触がお尻に伝わる。その冷たさと古い本の放つ臭気がわたしの心を2月14日へと運んでくれる。わたしは目を閉じて記憶を辿っていった。

あの日の放課後、あの人とわたしは図書委員のミスで図書室に閉じ込められた。その頃には本の移動も大分進んでいて、旧校舎側の図書室を利用する人などいないと思われたのだろう。

そう、思えばたった1ヶ月前だった。あの人と二人きりで過ごした夢のような夜。暖房が切れて、寒くて凍えそうだったけれど、胸の中は熱くて爆発しそうだったあの夜。

『ほら』

そうやってあの人は、チョコレート割って、お腹を空かせたわたしに分けてくれた。

だめです、そのチョコレートは。だってそれは、お姉ちゃんからの。

そう言おうとしたのに、その言葉は喉のところで掻き消えてしまった。

チョコレート割ったあの人の手が大きくて、頼もしくて、わた

しは子供のようになら口を開け、チョコを押し込まれるがままにさ
れていた。

あの時、自分の鞆の中にもチョコレートが入っているなんて言え
なかった。言える訳が無い。あなたに渡すためのチョコだったなん
て。だからと言って、そのチョコレートを他の人に渡すつもりだっ
たと思われるのはもつと嫌だった。

この時わたしは、お姉ちゃんを裏切ったのかもしれない。でもわ
たしの胸に去来していたのは、冷たい罪悪感よりも、蕩けるような
甘美な想いだった。そしてあの人が自分の制服のブレザーを脱いで、
寒がるわたしに羽織らせ、そのまま肩を抱いてわたしを安心させる
言葉を耳元で囁いたとき、わたしは何もかもを忘れた。

『……さん、……です』

あの時、あの人の唇がわたしの頬に触れたのは、わたしを抱き寄
せた弾みだったのか、それとも、ただあの人が不誠実な人だっただ
けなのか。『ごめん』とあの人が言わなかったということは 止
そう。それはわたしの知るところではないし、知ってはいけないこ
とだ。

わたしは目を開けて回想を中断する。

高度の低い太陽が、遠い窓の光をわたしの所まで運んでいた。

あれからわたしたちは寄り添って眠っただけ。朝になって、校務
員さんがわたしたちを見つけたときには、もうあの人は「お姉ちゃ
んの恋人」だった。お姉ちゃんを裏切つても貫きたいと思っただけ
うべの想いは、ただの幻想だったかのような錯覚に陥っていた。

あの人は、その日以来、顔を合わせていない。卒業式で卒業証
書を受け取る後ろ姿をちらりと見たくらいだ。少し遠い高校にスポ
ーツ進学するらしく、お姉ちゃんともなかなか会う機会がとれなく
なるらしい。

もう、あの日のような想いを抱くことは無いだろう。でも、あの時、チョコレートを半分こして食べた想い出は、誰にも口にするとはないけれど、きつといつまでも心の中の大切な部屋に置いておくことになるだろうと、そんな気がした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4325e/>

まぼろし

2010年11月6日13時40分発行